

「Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024」 の公募について

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、海外での活動に意欲を持つ中堅アーティストを対象とした現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024」の公募を以下のとおり行います。

この賞は、平成 30(2018)年度創設され、今回は第 4 回目の公募となります。今回の実施にあたり、アーティストへの支援をより充実させるため、海外活動支援の充実や支援期間の延長、海外発信支援の強化などの見直しを行いました。東京都現代美術館での展覧会実施や海外発信支援等、受賞から 3 年間にわたり受賞者を継続的に支援してまいります。



[第3回]授賞式の様子

1 応募資格

以下の条件をすべて満たす方（グループの場合、全員が条件を満たすこと）

- (1) 日本に居住する方あるいは国内に活動拠点のある方
- (2) 現代美術の分野で活動するアーティスト（ジャンル不問）
- (3) 10 年以上の活動歴がある方
(国内外で個展、グループ展への参加が概ね 10 件以上ある 35 歳以上の方を想定)
- (4) 海外での活動に意欲があり、2022 年 3 月に開催予定の授賞式への出席、2022 年度の海外での活動、および 2023 年度末の東京都現代美術館での作品発表（展覧会）が可能な方
- (5) 2021 年 11 月下旬（予定）に開催する選考委員によるスタジオ訪問・面接に参加できる方

2 応募申込み期間

メールエントリー：令和 3(2021)年 6 月 14 日（月曜日）から 6 月 23 日（水曜日）まで

（作品データ（アプリケーション）の提出は 6 月 30 日（水曜日）まで）

3 選考から受賞後のスケジュール（予定）

令和 3 (2021)年 7 月～11 月下旬	審査（最終選考ではスタジオ訪問及び面接を実施）
令和 4(2022)年 1 月中旬	受賞者の発表
令和 4(2022)年 3 月下旬	授賞式
令和 4(2022)年度	海外での活動支援
令和 5(2023)年度	東京都現代美術館での展覧会（3 月）の準備・開催
令和 6(2024)年度	モノグラフ（作品集）の作成・海外発信支援

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、スタジオ訪問・面接・選考会をオンラインで実施します。また、支援内容・時期に一部変更等が生じる可能性があります。

【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課
電話 03-5245-1142

4 応募方法

詳細は別添募集要項またはウェブサイトをご覧ください。



5 その他

賞の概要及び選考委員につきましては別紙をご覧ください。

なお、今回の公募から隔年募集となり、次回の公募は令和5(2023)年度の予定です。

【参考】これまでのTokyo Contemporary Art Awardについて

(1) 第1回 (Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021) 受賞者

風間 サチコ (かざま さちこ)

下道 基行 (したみち もとゆき)

(2) 第2回 (Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022) 受賞者

藤井 光 (ふじい ひかる)

山城 知佳子 (やましろ ちかこ)

(3) 第3回 (Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023) 受賞者

志賀 理江子 (しが りえこ)

竹内 公太 (たけうち こうた)

(4) 受賞者の今後の予定

令和3(2021)年度 [第3回受賞者] 海外での活動(旅費、滞在費、調査・制作費等支援)

令和4(2022)年3月 [第2回受賞者] 東京都現代美術館での展覧会

令和5(2023)年3月 [第3回受賞者] 東京都現代美術館での展覧会

受賞者のプロフィール、受賞理由等の詳細はウェブサイトをご覧ください。



【第3回】スタジオ訪問・面接の様子

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略「芸術文化の担い手サポートプロジェクト」

「Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024」公募 募集要項

■本賞について

本賞は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペースが、海外での活動に意欲をもつ中堅アーティストを対象に2018年から実施している現代美術の賞です。受賞者には賞金のほか、翌年度の海外での活動支援および翌々年度の東京都現代美術館での成果／受賞記念展の開催など、継続的な活動支援を行います。

本賞は選考委員による推薦と公募を併用し、選考委員によるリサーチや書類選考、スタジオ訪問などを経て2組の受賞者を決定します。

■応募資格

以下の条件をすべて満たす方（グループの場合、全員が条件を満たすこと）

- (1) 日本に居住あるいは国内に活動拠点のある方
- (2) 現代美術の分野で活動するアーティスト（ジャンル不問）
- (3) 10年以上の活動歴がある方
(国内外で個展、グループ展への参加が概ね10件以上ある35歳以上の方を想定)
- (4) 海外での活動に意欲があり、2022年3月に開催予定の授賞式への出席、2022年度の海外での活動、および2023年度末の東京都現代美術館での作品発表（展覧会）が可能な方
- (5) 2021年11月下旬（予定）に開催する選考委員によるスタジオ訪問・面接に参加できる方

■支援内容

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行います。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限200万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示／2023年度末予定）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記(3)の展覧会実施後に制作）・海外発信支援

■選考委員（予定）※肩書きは、2021年6月時点のものです。

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ(クンストインスティテュート・メリー ディレクター)

高橋瑞木 (CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) エグゼクティブディレクター兼チーフキュレーター)

野村しのぶ (東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター)

キャロル・インハ・ルー (北京中間美術館 ディレクター)

鷺田めるろ (十和田市現代美術館 館長)

近藤由紀 (トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター

(公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長))

■応募期間

メールエントリー：

2021年6月14日（月）から 2021年6月23日（水）18:00（日本時間）まで

アプリケーション提出：

2021年6月14日（月）から 2021年6月30日（水）23:00（日本時間）まで

■応募方法

(1) Tokyo Contemporary Art Award の特設ウェブサイト(www.tokyocontemporaryartaward.jp)よりアプリケーションパッケージをダウンロードしてください。

(2) アプリケーションパッケージ内の「応募書類作成マニュアル」をご確認の上、「応募申込書」に必要事項を入力し、メール添付にてエントリーしてください。

【送信先】 apply_tcaa2021@tokyoartsandspace.jp

【メール件名】 お名前（フルネーム）：Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 応募

【締切】 2021年6月23日（水）18:00 必着（日本時間）

(3) メール受信後4営業日以内に、トーキョーアーツアンドスペースよりアプリケーションフォーム提出先 URL をお知らせします。

アプリケーションパッケージ内の「応募書類作成マニュアル」をご確認の上、締切期日までに指定のリンク先にアプリケーションフォームを提出してください。

【締切】 2021年6月30日（水）23:00 必着（日本時間）

※応募後の応募用紙、資料の差し替え・変更は受け付けておりません。

■注意事項

(1) 芸術に関わる専門家（学芸員、批評家、大学教員など）2名の推薦者の情報を記入してください。

(2) 指定したフォーマットや方法以外で応募された場合、選考対象外となる場合があります。

(3) 提出資料は、一定期間保管後、処分させていただきます。

■選考スケジュール（予定）

(1) 一次選考：2021年9月上旬

※結果は一次選考通過者のみに9月下旬までにご連絡いたします。

(2) 最終選考（スタジオ訪問及び面接）：2021年11月下旬

※結果は最終選考参加者すべてにご連絡いたします。

(3) 受賞者発表：2022年1月中旬

※選考の経緯、結果に関するお問い合わせは受け付けておりません。

■お問い合わせ

TCAA 特設サイトに掲載されている FAQ 以外のお問い合わせについては、2021年6月23日（水）までに下記 Email 宛にお送りください。

Email：tcaa@tokyoartsandspace.jp

※お電話でのお問合せはご遠慮ください。

■個人情報について

応募に際して提出いただいた個人情報は、本公募事業の業務目的及び展覧会、イベントのご案内など、TOKAS からの情報提供のために利用させていただく場合があります。応募者の個人情報をこれら正当な目的以外に無断で使用することはありません。

■「Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024」スケジュール（予定）



■その他

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、スタジオ訪問・面接・選考会をオンラインで実施します。また、支援内容・時期に一部変更等が生じる可能性があります。

(2) 今年度の公募から隔年募集となり、次回の公募は令和5(2023)年度（予定）です。

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

アーティストへの支援をより充実させるため、海外活動支援の充実や支援期間の延長、海外発信支援の強化などの見直しを行っています。（変更点は下線部）

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を通じ、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

- ・スタジオ訪問や面接により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・東京都現代美術館での**展覧会実施**、**海外発信支援**等、受賞から**3年間**をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限200万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展覧会実施後に制作）・**海外発信支援**

【賞のスケジュール】



※今回の公募・選考から**隔年**実施となります。

支援期間延長

Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 選考委員（予定）

（順不同／敬称略）

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ	クンストインスティテュート・メリー ディレクター
高橋 瑞木	CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京中間美術館 ディレクター
野村 しのぶ	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター
鷺田 めるろ	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年6月時点のものです。